

Kazuma Miura

Bandoneon

三浦一馬 バンドネオン

映画音楽セレクション

～ピアノ・弦楽アンサンブルとともに～

2014.10/19 [日] 開演 15:00

栃木県総合文化センター サブホール

入場料(税込) 全席指定 3,500円

発売開始日▶2014年6月18日(水) 午前10時より

〔出演者〕

三浦一馬(バンドネオン/Bn)

長原幸太(ヴァイオリン/Vn) 依田真宣(ヴァイオリン/Vn)

須田祥子(ヴィオラ/Va) 植木昭雄(チェロ/Vc)

黒木岩寿(コントラバス/Cb) 加藤昌則(ピアノ/Pf)

〔演奏曲〕

E・モリコーネ:「荒野の用心棒」「夕日のガンマン」

「ワンス アポン ア タイム イン アメリカ」

「ニュー シネマ パラダイス」

「ミッション～ガブリエルのオーボエ」

「海の上のピアニスト」 など

H・マンシーニ:「ティファニーで朝食を～ムーンリヴァー」

「シャレード」「ピンクパンサー」「ひまわり」

N・ロータ:「太陽がいっぱい」「ロメオとジュリエット」

「ゴッドファーザー」 ほか

※演奏曲は変更になる場合があります。



写真提供:ピクチャーエンタテインメント(株)



Kota Nagahara

Masanobu Yoda

Sachiko Suda

Akio Ueki

Iwahisa Kuroki

Masanori Katoh

チケット発売窓口

栃木県総合文化センタープレイガイド (午前10時～午後7時)

●電話予約

☎028-643-1013

●インターネット予約

<http://www.sobun-tochigi.jp/>

■下野新聞プレイガイド(東武宇都宮百貨店2階)

☎028-651-5255

■宇都宮市文化会館プレイガイド

☎028-634-6244

■FKDショッピングプラザ宇都宮(3F)

☎028-623-5269

■FKDショッピングモール宇都宮インターパーク(2F)

☎028-657-6534

主催

公益財団法人 とちぎ未来づくり財団

—青少年の健全育成と県民文化の振興を目指します—

お問い合わせ

栃木県総合文化センター 文化振興課

〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内

☎028-643-1010 (平日8:30～17:15)

URL <http://www.sobun-tochigi.jp/>

お願い／ お断り

○就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

○会場内では、携帯電話等の電源をお切り下さい。

○開演5分前にはご着席下さい。開演後にお越しの際は、ロビーでお待
ちいただく場合がございます。

○都合により、演奏曲目・詳細が変更になる場合があります。

○会場には駐車場がございません。公共交通機関等をご利用ください。



みうら かずま
三浦一馬
(バンドネオン)

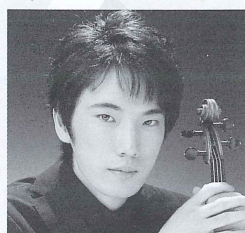
写真提供: ピクチャーエンタテインメント(株)

1990年生まれ。小松亮太のもとで10歳よりバンドネオンを始める。
2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオン界の最高峰ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。
2008年10月、イタリア・カステルフィダルド市で開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。
2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。
オーケストラとの共演も数多く、2007年の井上道義の上り坂コンサート(神奈川フィルハーモニー管弦楽団)での協奏曲を皮切りに、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。
パッハからガーシュウィンまでを自身で編曲・演奏するなど、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりがNHK「トップランナー」に取り上げられ、再放送となる反響を呼ぶ。その他、コンサート活動の傍らテレビやラジオ出演も多数。
これまでにピクチャーエンタテインメントより「タンゴ・スイート」「プエノスアイレスの四季」「カーメラタンゴス」をリリース。
現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。
公式サイト <http://kazumamiura.com/>
公式Facebookファンページ <https://www.facebook.com/kazumamiura>



ながはら こうた
長原幸太(ヴァイオリン)

広島出身。92年、93年全日本学生音楽コンクール全国第1位。93年12歳で東京交響楽団と共演。94年第6回ヴィエニエフスキ国際ヴァイオリン・コンクール17歳以下の部第3位。98年第67回日本音楽コンクール最年少優勝、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞を受賞。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学入学。在学中、全額スカラシップを受けジュリアード音楽院へ留学。2004年9月大阪フィルハーモニー交響楽団首席客演コンサートマスターに就任し、06年4月から12年3月まで首席コンサートマスターを務めた。
93年、94年広島市長賞「広島フェニックス賞」、広島県教育長賞「メイプル賞」、98年広島国際文化財団「ヒロシマ・スカラシップ98」。2000年第10回広島ホームテレビ文化・スポーツ賞(最年少受賞)、東京藝術大学の福島賞、07年大阪市「咲くやこの花賞」、「広島文化賞 新人賞」、11年「第21回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞」など受賞多数。2014年10月より読売日本交響楽団のコンサートマスターに就任が決まっている。



よだ まさのぶ
依田真宣(ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院修士課程を修了。東京藝術大学在学中に「福島賞」、「安宅賞」を受賞する。
「第4回東京音楽コンクール弦楽部門」第2位等、数々のコンクールで入賞を果たす。
2010年度、青山音楽賞(パロックザール賞)受賞。
これまでに、ヴァイオリンを岡山潔、ジェラルド・プーレ、オレグ・クリサの各氏に師事。
水戸室内管弦楽団に参加、紀尾井シンフォニエッタ東京2008～09年のシーズンメンバー。
現在は大阪フィルや東京フィルのゲストコンサートマスターを務めるなど、オーケストラ、室内楽をはじめとする様々な分野で積極的に活動している。



すだ さちこ
須田祥子(ヴィオラ)

幅広い分野で活躍している。

6歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向、98年同大学を首席で卒業。2006年、東京フィルに首席奏者として入団。2007年からは洗足学園にて後進の指導にもあたっている。これまでにヴァイオリンを室谷高廣、ヴィオラを岡田伸夫の各氏に師事。
第23回プレミオ・ヴィトリオ・グイ国際コンクール、第2回淡路島じづかホールヴィオラコンクールなど多数のコンクールで第1位優勝。皇居内御前演奏会、ヴィオラスペース、サントリー芸術財団サマーフェスティバル等数多くのソロ演奏や、全国各地のオーケストラで首席奏者として客演やソリスト出演をする機会も多く、幅広い分野で活躍している。



うえき あきお
植木昭雄(チェロ)

6歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科(共学)を経て、桐朋学園大学に入学。1994年、第4回日本室内楽コンクールチェロとピアノのデュオ部門で入賞、桐朋学園大学在学中の1994年10月、フランスのリヨン国立高等音楽院に留学。同年、第64回日本音楽コンクールチェロ部門入選。1997年、霧島国際音楽祭にて特別奨励賞を受賞。1998年、リヨン国立高等音楽院を卒業し、ディプロマを取得。2002年、ソニー音楽芸術振興会より第一回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2004年、東京フィルハーモニー交響楽団とプフィッツナーのチェロ協奏曲第3番を日本初演。小澤征爾が音楽監督を務めるサイトウキネン・オーケストラ、室内アンサンブル「パヴィメント・ジャパン」、「ストラヴァガンツァ東京」のメンバー。
これまでにチェロを松波恵子、イヴァン・シフォロー、堤剛の各氏に、室内楽を原田幸一郎、ラヴェル・ワルテット、練木繁夫の各氏に師事。



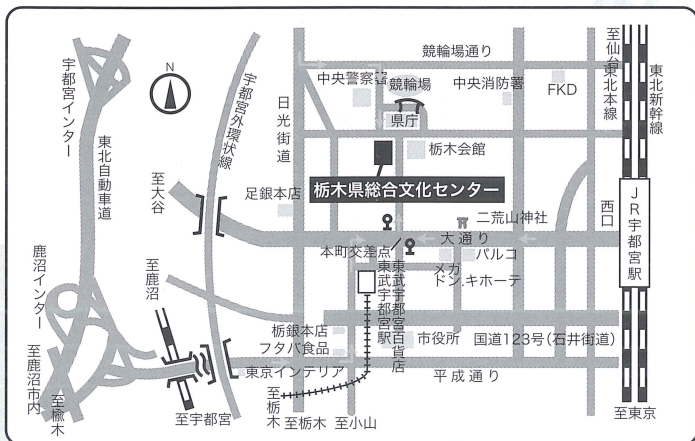
くろき いわひさ
黒木岩寿(コントラバス)

東京芸術大学卒業、同大学院修士課程修了。1987年安宅賞受賞。88年福島賞受賞。ハケ岳高原音楽祭、霧島国際音楽祭、ゆふいん音楽祭参加。89・92・94年ポーランド・ヴィエニエフスキ音楽祭、92年バルセロナ・カタロニア音楽祭出演。小林研一郎指揮・読売日本交響楽団、ドイツの重鎮ハンス・マルティン・シュナイ特指揮・神奈川フィルハーモニー管弦楽団、沼尻竜典指揮・トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズと協演。1990年から2004年まで東京芸術大学管弦楽研究部非常勤講師。2001年から2008年まで(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。'09より東京フィルハーモニー交響楽団に移籍し首席奏者に就任。現在は水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京ソリステン、ジャパン・チェンバー・オーケストラ、トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズ、パロック・バンドのパヴィメント・ジャパン、ラ・ストラヴァガンツァ東京のメンバー。兵庫県芸術文化センター管弦楽団にも出演している。桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学講師。
映画音楽「おくりびと」の録音にも参加。コマーシャル、ドラマ等、ジャンルを超えたパフォーマンスで活動中。また自らの企画「文化人類学講座」は好評を博している。



かとう まさのり
加藤昌則(ピアノ)

作曲家・ピアニスト。東京芸術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。
いわゆる「現代音楽」とは全く異なる視点で書かれた、美しく斬新な抒情性に満ちた作品は、多くの愛好者を持ち、次代を担う作曲家として注目を集めている。
これまでにNHK-FM「FMリサイタル」、「名曲リサイタル」などで自作品を演奏、放送終了後、問い合わせが多数寄せられた。03年、ムジークフェライン・ブラームスザールにてウィーンデビュー。「スロヴァキアン・ラブソディ」(05年)を発表、スロヴァキア・フィル東京公演(サントリーホール)で初演され、サクソ奏者須川展也のアルバムにも収録(金聖響指揮、東京交響楽団)。09年ブラティスラヴァにても再演された。オペラ「ヤマトノオロチ」や、神奈川フィルの定期演奏会での委嘱作品「刻の里標石」、《福島復興・復活オペラプロジェクト》作品「白虎」はじめ、山形由美、村治佳織、宮本益光、奥村愛など多くのソリストに楽曲提供をしており、オペラ、管弦楽曲、器楽曲、合唱曲など作品は幅広く、楽譜も多く出版されている。



交通のご案内

- 東武宇都宮駅から徒歩にて10分(0.7km)
 - JR宇都宮駅西口からタクシーにて約5分(約1.6km)
バスにて約10分「県庁前」下車後徒歩約3分
(江島島ゆき、駒生・作新学院ゆき、細谷ゆき、ほか)
 - 東北自動車道 鹿沼ICから約30分(約9km)
- 当センターには駐車場はありません。
お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください。